

計量の標準に係る校正・試験等申請書（記入例）

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

国立研究開発法人産業技術総合研究所

理事長 殿

（申請者

名称 〇〇〇〇株式会社

住所 〇〇県〇〇市〇〇〇丁目〇番〇号

（上記が証明書の発行先になります）

（代理人） ※代理人申請の場合は委任状が必要です。

名称

住所

計量標準に係る校正・試験等を申請します。

1 校正を受けようとする器物の内容

校正・試験等の種類

長さ ブロックゲージ絶対測定

短尺（呼び寸法が 100 mm 以下のもの）

※料金表の種類、項目、細目を明記。

技能試験・特定副標準器校正の場合、その旨もご記入ください。

計量器（器物）の名称及び数量

ブロックゲージ 〇 個

※上記名称を証明書に記載します。

一般名称ではない商品名のような場合には、標準的な名称に変更する場合があります。

計量器の製造者名

〇〇〇〇株式会社

型式及び器物番号（識別番号）

型式 〇〇〇〇 器物番号 〇〇〇〇

校正点

〇.〇〇 mm

2 校正を受けようとする場所（産総研以外の場合）

産総研への持ち込み校正の場合には、空欄のままで構いません。

出張校正、遠隔校正の場合は、校正を受ける場所（住所、事業所名）を記入願います。

3 証明書等

和文 通

英文 通

⇒※備考をご確認ください。

4 手数料

（校正・試験手数料 + 校正証明書・成績書手数料）× 1.1（消費税 10 %） = 手数料計

（ 37,500 円 + 1,500 円 ） × 1.1 = 42,900 円（税込）

不明な場合には、空欄でお持ちください。

5 その他 担当者名、連絡先及び校正証明書の交付方法

氏名 梅園 太郎

T E L : 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇

(部署名) 〇〇〇部〇課

F A X : 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇

E - m a i l : 〇〇〇@〇〇.〇〇.〇〇

校正証明書の交付方法 紙媒体

送付先：（※ 請求書及び証明書の送付先が申請者住所と違い場合は明記ください。）

備考

英文証明書の発行を希望する場合は、申請者欄、項目 1(校正・試験の種類を除く)及び項目 2 を英文で記載するか又は英文の別紙を添付して下さい。

証明書の発送は、手数料の入金確認後となります。

手数料は、当所の都合で校正・試験が完了しなかった場合以外、お返しできません。当所の都合により完了しなかった場合には、全額返却致します。